



愛南町長 中村 維伯 まさのり

「まちを元気に」
「ひとを元気に」

あけましておめでとうござい
ます。

皆さま方におかれましては、
ご健勝にて輝かしい新春をお迎
えのことと心からお慶び申し上
げます。旧年中は町行政の各般
にわたり、深いご理解と温かい
ご支援を賜り厚くお礼を申し上
げます。

また、昨年10月には多くの方
に信任をいただき、町長の職に
就くことができましたこと、重
ねてお礼申し上げます。これか
らの4年間、皆さま方と一緒に

元気な町づくりに邁進してまい
りますので、どうぞよろしくお
願いします。

さて、2025年は巳年です。
巳年は古くから「成長」「脱皮」
の象徴とされ、新たな挑戦や変
化を受け入れ、一歩ずつ確実に
前進していく年といわれています。
人口減少と高齢化が進む中、
さまざまな課題はありますが、
本町におきましても大きな発展
と飛躍を目指して取り組みをよ
り一層加速させるべく、重点施
策に取り組んでまいります。

まず、人口減少に立ち向かう
取り組みが急務となっているこ
とから、子育て支援の充実、U・
Iターンの支援強化、南宇和高
校の魅力化の推進などにより、
次世代を担う子どもたちが夢と
希望を持って成長できる環境づ
くりを注ぎ、教育の質の向
上や子育て支援の充実に取り組
んでまいります。

次に、次世代につながる産業振
興を図るため、10年先を見通し
て、外国人などの雇用対策の支

援、スマート農業や水産業の振
興に力を入れます。私たちの町
には、豊かな自然環境から生ま
れる魅力的な地域資源が数多く
あります。海業を絡め、これら
の魅力を最大限に発信し、町を
訪れる観光客の増加を図り、観
光ナンバーワンの町を目指して
まいります。さらに、地元の特
産品を存分に活用した新たなビ
ジネスの創出を促進し、地域経
済の持続的な発展を支援してま
いります。

地域防災力の向上で災害に強
い町づくりに向けた取り組みで
は、「津波から高台へ」、「豪雨
から安全な場所へ」をキーワー
ドに自主防災会や防災士の活動
支援を強化するなど、ソフト・
ハードの両面で、いつ発生する
かわからない災害への備えをス
ピード感を持って進めてまいり
ます。

また、高齢化率の進展により、
安心して暮らせる共生社会の実
現が求められています。移動手
段の確保が困難な方への支援を

はじめ、健康寿命の延伸や持続
可能な医療・介護体制の整備な
ど、地域福祉の充実を図るとと
もに、高齢者や障がい者への支
援を優先順位をもって拡充し、
誰もが生き生きと生活できる町
づくりの構築を目指してまいり
ます。

その他、町民参加型の男女共
同参画の推進、豊かな自然環境
を保全する取り組みや行政情報
の発信強化を図り、町の魅力度
の向上に努めてまいります。

結びに、巳年の象徴である成
長と飛躍の力を胸に皆さまの声
に耳を傾け、変化を恐れず、「ま
ちを元気に」「ひとを元気に」を
目指し、皆さまとともに町の発
展に取り組んでまいりますの
で、町民の皆さまには引き続き
温かいご指導、一層のご協力を
お願いいたします。

本年が町民の皆さまにとりま
しても、幸多き年となりますこ
とを心からお祈り申し上げます。年
頭のごあいさつとさせていただきます。



ふみひと
愛南町議会議長 佐々木 史仁

更なる議会改革に 邁進します

年頭にあたり、議会を代表して謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

議長という大役を仰せつかり、1年と8カ月が経過しました。公平公正な議会運営を目指して誠心誠意努めてまいりましたが、改めて、町民の皆さまと議員各位のご指導とご協力に対し、感謝とお礼を申し上げます。昨年、太陽光発電事業に関する損害賠償請求訴訟の和解、町長選挙と議員選挙を同時選挙とするための愛南町議会解散

に関する決議の提出、ならびに議会がした行政処分に関する訴訟の件など、重く難しい判断を迫られる案件が多くありました。議員各位が課題と真摯に向き合い、町民全体の福祉の向上という観点から意思決定をし、二元代表制の議事機関としての役割を果たしてまいりました。喧々諤々の議論で町民の皆さまにご心配をお掛けする場面もありましたが、多様な知見と経験値を持った議員が議論を交わすことが議会の存在意義であり、すので、ご理解いただき、今後とも議会活動に関心を持っていただきたいと考えております。

そして、昨年は、議員報酬の改定について提案をさせていただきました。愛南町議会議員の報酬月額、全国平均、また県平均よりも低い水準にあります。議員報酬の改定については、若い世代にも立候補を促し、愛南町議会が将来にわたり、住民の多様性を反映した合議体として存在意義を高めつつ存続させたい、との思いから提案いたしました。是非、ご理解をいただきたいと考えております。

さて、愛南町議会では、近年、一般質問における一問一答方式の導入、議会報告・意見交換会の開催などさまざまな議会改革に取り組んでまいりました。議会の大切な仕事の一つに、町民の意見を聴き町の施策に反映させる「広聴」活動があります。愛南町議会では、この「広聴」活動を一層充実させるため、長年の懸案であった議会単独の広報紙を発行することにいたしました。創刊は3月を予定しております。現在、編集作業の最中です。「町民の皆さまの意見や情報を集約し、町民と議会の意思疎通の架け橋となる紙面づくり」を基本姿勢として、期待される内容は、「過去」のことより「現在・未来」のことである点を重視し、住民参画の機会を設けた紙面づくりをしてまいりますので、是非、町民の皆さまの貴重なご意見をお聴かせください。

今年の干支は乙巳きのとです。乙巳の干支は、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つと言われ、成長と結実の年になるともいわれます。愛南町は、昨年合併20周年を迎え、また、10月には、中村維伯新町長が誕生し、新たな時代へと一歩を踏み出しました。愛南町の経済がさらに成長し、幸せを実感できる町となるよう、議会も「住民に開かれた議会」を目指し、さらなる「議会改革」に邁進してまいります。

本年も、議会に対し、町民の皆さまのさらなるご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げますとともに、町民の皆さまにとりまして、本年が素晴らしい、幸多き一年となりますよう祈念して、新年のあいさつとさせていただきます。